



発行所 秋田県五城目町役場文書広報課編集

電話 (01885)② 代 2100番

印刷所 湖 東 印 刷 所

電話 (01885) ② 2430番

一部 35円 郵便番号 018-17

毎月 1 日・15 日発行



喜びの道場開き

— 祝いの矢を放つ魂入れ —

総工費三千五十八万円

四月二十九日午後一時から弓道場の道場開きがあった。町の弓道愛好者たちにとっては、いとも晴れやかな天皇誕生日となった。

この弓道場は、雀館運動公園の一角に総工費三千五十八万円で完成したものである。

当日の式次第の中に、天地の祓(はら)い、矢渡、祝射などあったが、その矢渡の儀式で永沢則竹七段が射手として登場した。永沢氏は見事に弓の本末(もとすえ)を知る古武士然として、安土の標的の弓を張る様子はいかにも一幅の絵となった。滴を持して離れた矢は風を切つて標的を射る。続けざまに二本の矢が標的に姿をとどめたときは、見る人々の中から期せずして拍手がわき、ため息がもれた。御矢師自らの矢作りに、技術の確かさを証明してみせた一幕でもあった。

学びたい気息の充実

矢を射るときは八節の法があるという。一、足踏み、二、胴造り三、弓構(ゆがまえ)、四、打起し、五、引き分け、六、会(あひ)、七、離れ、八、弓身または残心、などがそれである。これとは、弓を左右均等に引き分けが完成された状態では、身体、精神弓矢がこんぜん一体となって滴を持ち、氣息を充実して発射の機を熟させることを指しているようである。

私たちの生活のリズムは、とてつもなくせわしく、氣息充実の時間が次第に失われている。礼に始まり礼をもつて終りとする射手の仕草を見てみると、私たちの生活の中で忘れていた時を呼びもどしてくれる。

学校でもとりあげてほしい

この競技は、小学生以上なら年齢に制限はないと言われる。町の人々が一人でも多くこの弓道場に足を運び、心身修養の場としてほしい。そして何よりも、小、中学校でこの道場を利用する時間をもうけてほしいことだ。現代社会で失われているものを少しずつ取り戻してくれる期待がもてること請け合ひである。

それができれば、この道場の意義もまた更に深まることになるだろう。

(先回の広報記事の中で弓道場の竣工式とあるのは誤記でしたので、訂正してお詫び申し上げます)

町内会長・町政協力員合同会議

町当局と意見を交換

五十六年度町内会長・町政協力員合同会議は、四月二十三日午前十時から町民センターで、町内会長五十二人、町政協力員四十二人が出席して行われた。町当局から町四役をはじめ各部室課長が列席した。

午前中、部室課長の自己紹介と町長のあいさつの後、各課からの連絡事項について説明があった。

昼食後、町内会長会長の伊藤一実さんを座長にして、町当局と町政に対する意見を交換した。その主な内容は次のとおりである。

(文中敬称略)

▼黒土 安田 鶴治

- ①年間をとおして行う町内対抗総合体育大会は、地区の行事が制約されるし、部落の予算面でも問題があるので、種目を少なくするなどの改善はできないか。
- ②大手の工場用地をいつまであのままにしておくのか。なにかに利用する計画はないのか。
- ③県が行おうとしている老人医療や福祉医療の見直しを町ではどのように考えているのか。

①教育 長

町内対抗総合体育大会は、今年度が二回目の大会となる。

昨年度の第一回大会全般について町内の声を聞くこと、百評ではないが、かなりのご賛同を得たものと思っている。しかし改善しなければならぬ点もたくさんあると思うので、いろいろ工夫して対処して行く。

種目が多すぎるという意見については、五月二十三日に行われる

あるようなので、もう少し努力を続けたい。だから、今のところこの用地を外に転用することは考えていない。

③民生部長

最近、国、県で老人医療や福祉医療の見直しを行うことになっているし、国民健康保険法の改正も行われようとしている。

老人医療は昭和四十四年から、県単事業の福祉医療は四十八年から実施している。県単事業といっても、その半額は町の負担となっている。

老人医療は七十歳以上のお年寄り、寝たきり老人の場合は六十五歳以上を対象にしている。秋田市などのように、六十八歳から対象にしている市町村もあるが、本町では国の制度のとおり行っている。

福祉医療については、入院の場合は三歳未満の乳幼児、通院の場合は二歳未満、一級、二級、三級の重度身体障害者を対象にしている。

新聞紙上でご承知のように、県の福祉医療については、七月以降に見直しをしたいということである。市町村長、主管の担当課長、さらに事務担当者の会議が行われ、各市町村も同調するようにお願いがあった。担当者の会議では、五十市町村が県の方針に同調するということだった。その他十九市町村は態度を保留した。

本町は、老人医療について八千万円、福祉医療については三千万円ほど支給している。

県の福祉医療等の見直しについては、次のような場合に所得制限に資料になる。例えば四人家族で父または母の年収が四百三十三万五千円以上、あるいは家族全部の年収が八百二十八万七千円以上の場合である。

おかげでつばな林道ができ、お礼申しあげたい。中村林構林道は広域林道と中村部落を結ぶ道路で交通量も増えており、生活林道と言っても間違いでないと考えている。

この林道の部落よりは急こう配で、三百メートルあるが、この分については調査を完了している。改修するには多額の事業費が必要であり、昨年の末に県の方からも調査に来てもらった。この対策として、なにかの補助事業で行いたいと考えている。林野庁の採択基準には急こう配地点に対しては舗装する方法があるので、関係機関にはたつきかけ、舗装するという

▼帝釈寺 石井 鉄雄

社会体育協力委員の選出は総合体育大会と関係があるのか。

社会教育課長

社会体育協力委員の選出は、総合体育大会関係のために、各町内会にお願いしたものである。

今までは、大会の連絡や運営をお願いする場合、それが町内会長さんであったり、町政協力員さんであったりして、まちまちであった。また、連絡や運営をスムーズに行うためにも、今回選出することにしたものである。

▼中 村 佐藤安太郎

①中村林構林道は広域林道につながっており、多くの人が利用している。造る時地元が負担しているの、維持管理について町の援助をお願いする。

②国有林でヒルが大量発生しているが、すでに民有林の近くでも発生しているようなので、実態調査を行ってはどうか。

①林政課長

広域林道をはじめ林構林道については、部落のみならずにはたいへんご迷惑をおかけしました、

町の重要な問題等について、各町内会長に案内をだして、議会の傍聴なり、話し合いに参加させてほしいということであったが、住民に相談をかけることはよいことと思う。しかし、議会そのものの傍聴については、町が案内することとはできないと考える。ただし、議会があるたびに町広報やその他の方法で、日程などをピーアールしているの、自主的に独自に傍聴し、学習することはよいことだと思う。

②総務部長

町内会長会は、町内会長さんたちが自主的に作った会であって、各町内会が千円の会費をおさめ、それに町の補助金を加えて運営している。

だから町内会長会と今日の会議とは、まったく別個のものという考えにたっている。

②産業部長

昨年馬場目岳一帯の観光開発ということで、調査に行ったとき、ヒルのため調査を中止したことがあった。ヒルが多かったのは、奥山の地帯であったからと解釈していた。このような状態が、里山まで及んでいるということを知り、驚いている。さっそく県の方と協議してその実態を調査したい。

▼新畑町 嶋崎 正三

①今日の町内会長・町政協力員合同会議と町内会長会は、なにか関連がないのか。

②町の重要な問題については、町内会長にも話し合いに参加させてほしい。

③住宅団地をつくってほしい。

①町長室長

今日の会議は、町内会長さんと町政協力員さんの合同会議であって、町 主催している。毎年、地

③建設部長

住宅団地の造成は、道路の幹線をつくった後で行うということで進めてきている。そのようにしてできたのが、新里町の広ヶ野団地三十一戸である。

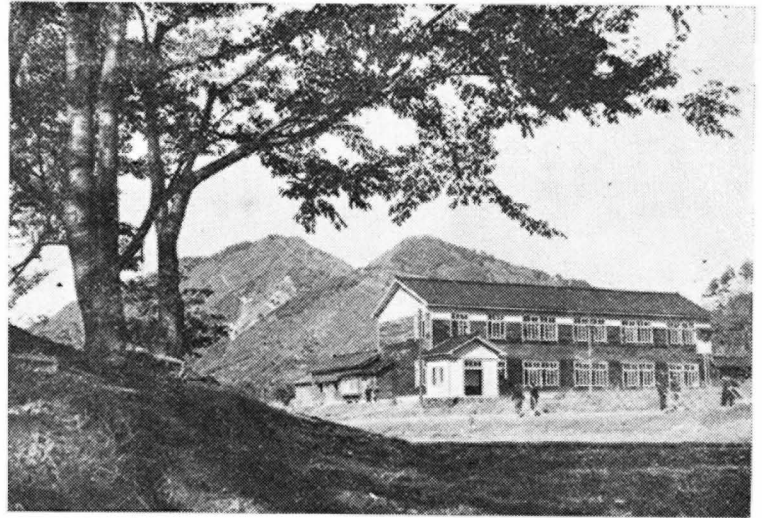
今後、このような大きな団地がだんだんできてくる。現在計画しているのが、矢崎地区の住宅団地である。

また、町の開発公社でも、いろいろ住宅団地の仕事を考えており、今その基礎づくりを進める。

五城目高等女学校校舎

建設期成同盟会

(中)



五城目小学校の六教室を移転してできた五城目高等学校の独立校舎(昭24.9)



中村 清次郎

昭和二十二年四月、学制が改正になって、いわゆる六・三・三・四の学校教育が充足した。五城目高等女学校は、昭和二十三年四月一日に、新制高等学校に転換して、男女各一学級づつの生徒を募集し従来の旧制女学校を併置することになった。小学校では新制中学校、

青年学校を併置していたので、教室の不足をきたし、新制高等女学校は、校舎建設まで、新体操場(現五城目第一中学校第二体育館)に仮教室四と職員室を造って、学習を続けた。
女学校校舎建設期成同盟会も二十二年二月一日に高等女学校校舎建設期成同盟会と改称して、熱烈な運動を展開した。二月八日の常任委員会には会員全員の外、文化青年会、同志会、修養団の代表者も参加して、期成同盟会の運動に、全面的協力をすると約束した。
二月の末、町当局が高等学校設立委員会を発足させ、町議員十二名、学識経験者二名、青年

会、同志会、文化青年会が各一名、馬川部から二名、期成同盟会から二名の委員をもって組織した。
その後、期成同盟理事会は、月三、四回以上の会合を開いて、対策を練ったが、思うように進展しなかった。財政困難の理由、敷地の問題など、中には新学制の内容がわからず、五城目町には高等女学校のように程度の高い学校は不必要と論ずる人もあった。しかし期成同盟会は、着々運動を進め、時には町民大会を催し、街頭演説、建設基金募集趣意書を戸毎に配布するなどして、町民の意識を高揚させた。その結果一三名から、合計金額五万五千九百円の寄付申し出があった。そのうち高額寄付者の氏名は、了賢寺前に巨大な告知板を作り、掲示したことも思い出である。
昭和二十三年七月二十二日、待望の高等女学校校舎新築可否を決定する町議会が開かれた。議場は傍聴者で立すの余地ない程であった。最初に公聴会を開き、終って本会議に移り、満場一致可決して歴史的議決を見たのである。
建設を決めた校舎も、その後、う曲折、中々進展せず、翌二十四年四月、矢場崎に小学校の新校舎六教室を移転して、高等女学校校舎に充てることにしたが、財源のめどが立たず、着工が遅れた。五月二十五日生徒職員全員が敷地の整地作業を始めた。この時、各種団体、無名の町民などの手伝いもあって、六月十七日まで大体整地が終って建築が始まった。
このようにして、その年、昭和二十四年九月九日、新しく五城目高等女学校の校舎設立を見たのである。

② 消防署長
昭和四十年ころからと記憶しているが、消防施設の場所はすべて

① 産業部長
昨年、全県の関係課長会議で、私がこの件について発言して、県の考えを聞いた。県の答弁では、カモシカを絶対駆除できないというわけではないので、被害の実態を調査し、その写真を持って県へ相談に来てほしいということだった。
カモシカが杉苗をあらしているのは事実であり、私はこの点でも有害であると解釈している。石井さんから畑作物にも被害があると指摘され、考えを新たにしたい。県と相談しながら対処していきたい。

② 帝釈寺 石井 鉄雄
減反のためヤスギ苗にカモシカの被害があるので、調査してほしい。
③ 部落内の消防施設の中で、一カ所地代を払っている施設があるのはなぜか。

④ 帝釈寺 石井 鉄雄
減反のためヤスギ苗にカモシカの被害があるので、調査してほしい。
⑤ 部落内の消防施設の中で、一カ所地代を払っている施設があるのはなぜか。

(三ページよりつづき)
考える。
それで、みなさんのご苦勞を少しでも軽減したいということで、とりあえず町としては、急なものでや例外を除いて、今年(四月)二十五日から三回に上ぼつてお願いするように各部室課長と申し合わせている。
月三回の発送日は、五日、十五日、二十五日であり、この三回に集中してお届けしたい。しかし、これはあくまでも原則で、例外もあるので、その節はご協力をお願いする。

⑥ 消防署長
昭和四十年ころからと記憶しているが、消防施設の場所はすべて

⑦ 産業部長
昨年、全県の関係課長会議で、私がこの件について発言して、県の考えを聞いた。県の答弁では、カモシカを絶対駆除できないというわけではないので、被害の実態を調査し、その写真を持って県へ相談に来てほしいということだった。
カモシカが杉苗をあらしているのは事実であり、私はこの点でも有害であると解釈している。石井さんから畑作物にも被害があると指摘され、考えを新たにしたい。県と相談しながら対処していきたい。

⑧ 中村 佐藤安太郎
部落では健康づくりのため、狭いけれどもスポーツのできる広場を造成しようとしている。用地は個人のものです、造成するにはかなりの負担と費用が必要である。ならぬ形の形で、町からお手伝い願えないか。

⑨ 建設部長
広ヶ野橋はご指摘のとおり危険な状態であるので、補強したいと考えている。
新しい橋をかけるのであれば、できるかぎり補助事業で行いたい。しかし、現在では補助事業とするには、災害の場合よりないと思われる。

⑩ 上山内 島山耕之助
広ヶ野橋は、ぐらぐらして非常に危険である。
建設部長
広ヶ野橋はご指摘のとおり危険な状態であるので、補強したいと考えている。
新しい橋をかけるのであれば、できるかぎり補助事業で行いたい。しかし、現在では補助事業とするには、災害の場合よりないと思われる。

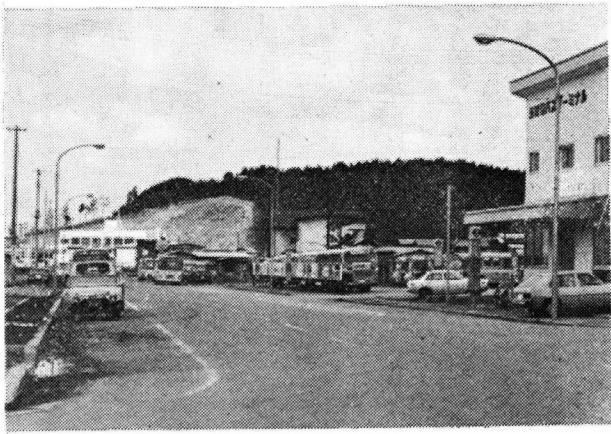
⑪ 消防署長
昭和四十年ころからと記憶しているが、消防施設の場所はすべて

⑫ 産業部長
昨年、全県の関係課長会議で、私がこの件について発言して、県の考えを聞いた。県の答弁では、カモシカを絶対駆除できないというわけではないので、被害の実態を調査し、その写真を持って県へ相談に来てほしいということだった。
カモシカが杉苗をあらしているのは事実であり、私はこの点でも有害であると解釈している。石井さんから畑作物にも被害があると指摘され、考えを新たにしたい。県と相談しながら対処していきたい。

⑬ 中村 佐藤安太郎
部落では健康づくりのため、狭いけれどもスポーツのできる広場を造成しようとしている。用地は個人のものです、造成するにはかなりの負担と費用が必要である。ならぬ形の形で、町からお手伝い願えないか。

⑭ 建設部長
広ヶ野橋はご指摘のとおり危険な状態であるので、補強したいと考えている。
新しい橋をかけるのであれば、できるかぎり補助事業で行いたい。しかし、現在では補助事業とするには、災害の場合よりないと思われる。

⑮ 上山内 島山耕之助
広ヶ野橋は、ぐらぐらして非常に危険である。
建設部長
広ヶ野橋はご指摘のとおり危険な状態であるので、補強したいと考えている。
新しい橋をかけるのであれば、できるかぎり補助事業で行いたい。しかし、現在では補助事業とするには、災害の場合よりないと思われる。



今年の植樹祭の会場になる中央線通り

全町植樹祭を中央線で

梅の苗木をプレゼント

今年の全町植樹祭は、5月11日午前10時30分から、鷺ノ木地内の都市計画街路中央線で行われます。

毎年、植林意欲の向上を目的として、山野で行っていた植樹祭を、今年は趣向を変えて、中央線通りの生活環境緑化を図る目的で、街路樹を植えることにしたものです。樹木の種類はケヤキで、当日参加者の手で植えられることになっています。

また、午前11時30分から、松竹食堂前の植樹祭本部で、「みどりのプレゼント会」を計画しています。これは県の緑化推進委員会の協力を得て行うもので、植樹祭にご参加くださった方をはじめ町内みなさんに、梅の苗木を1000本用意し無料でさしあげます。

引き続き人権擁護委員に

佐藤さん 加藤さん 川村さん

佐藤勝太郎さん(75)、加藤教蔵さん(64)、川村アヤさん(62)が四月十五日付で引き続き人権擁護委員に委嘱され、これから三年間町内のみなさんのために、人権擁護活動を行うことになりました。

さい。相談は無料で秘密を守ります。今回委嘱された人権擁護委員のお名前と住所は次のとおりです。

佐藤勝太郎(仲町)

転作の資金を
「無利子で借られます」

県では転作を行う農業者や、農業者で組織する団体に対して、転



加藤教蔵(野田)



川村アヤ(川原町)

身障者に

はがきを無料配付

郵便局では、身体障害者福祉強調運動の郵便はがきを、重度障害者の方に無料でさしあげています。希望者は、お近くの郵便局へ申し出てください。

配付の対象者と申し出の方法は次のとおりです。

▽対象者

重度の身体障害者(一級・二級)で昭和56年3月31日現在で

満6歳以上の方。

▽申し出の方法

郵便局に身体障害者手帳を提示し、所定の用紙に必要事項を記入して申し出てください。用紙は郵便局の窓口で準備してあります。

代理人や郵便による申し出もできますので、郵便局におたずねください。

▽期 限 5月31日

▽配付枚数 一人につき20枚

印紙税の税額が

かわりました

印紙税法の一部が改正になり、五月一日以降に作成される文書について適用されることになりました。

主な改正点は次のとおりです。

最低税率は、一通または一冊につき二百円になりました。また、それぞれの税率が二倍に引上げられたほか、土地売買契約金額等の高額なものについては、二倍以上に引上げられているものがあります。詳しくは、最寄りの税務署または税務相談室におたずねください。

なお、改正された印紙税額一覧表は、市町村役場や金融機関の窓口にも備えてありますのでご利用ください。

国(税)だより

サラリーマンと税金

サラリーマンの給料やボーナスには、所得税がかかります。この税金は、給料やボーナスを受取るときに源泉徴収されます。源泉徴収される税金は、源泉徴収税額表によって計算されます。この源泉徴収税額表は、サラリーマンの必要経費の要素を持つ給与所得控除や配偶者控除、扶養控除基礎控除などを織り込んで作られています。

源泉徴収された所得税の一年間の合計額は、年税額と必ずしも一致しません。これは、結婚や出産、就職などで扶養親族の数が変わったり、生命保険料や損害保険料の控除が、毎月の給料やボーナスの源泉徴収の際に控除されていないなどのためです。ですから、その年最後の給料で年税額との過不足額を精算するために、年末調整を行います。



青年海外協力隊員募集

発展途上国で

技術を求めています

国際協力事業団・青年海外協力隊事務局では、昭和五十六年度第三・四次隊派遣の協力隊員を募集しています。

青年海外協力隊は昭和四十年に発足し、現在まで約三千五百人の青年が海外で活躍しています。活動の舞台はアジア、アフリカ、中近東、中南米、南太平洋の発展途上国です。隊員は、そこに住む人々とともに生活しながら仕事をし、生活の向上、国の経済や社会の発展に協力します。

応募資格は、満二十歳以上、原則として三十五歳までの日本の青年男女で学歴は関係ありません。ただし、開発途上国の民生向上や経済、社会の発展に役立つ技術や技能が必要です。

この技術や技能とは農林水産、土木建築、機械操作などだけでなく、教育やスポーツも含みます。

募集要領は次のとおりです。

▽願書締切 5月30日(土)

事務局 必着

▽資料、願書の請求と問い合わせ 県庁・農政部普及教育課

電話 0188(60) 1495

▽選考試験

第一次選考(筆記)

7月5日(秋田市)



君にもできる何かがあるはずだ

第二次選考(面接)

8月6日/12日までの間に 東京で行う

▽派遣前訓練

4カ月間、勤務先での身分措置、技術研修などにより三次隊、四次隊に分かれる。

三次隊: 9月20日訓練開始

四次隊: 12月1日訓練開始

▽派遣期間 2年

▽パネル展示と説明会

期日 5月14日/16日

午前10時/午後5時

場所 秋田県民会館

13の費用で海外研修

希望者は25日までに公民館へ

県では社会教育海外研修の参加者を募集しています。この海外研修は県が主催して行うもので、経費七十三万一千円の約三分の二を県と町が援助します。

参加を申し込むには、町の推せんが必要ですので、応募したい人は五月二十五日までに町の公民館へ

婦人会に入りませんか

五城目町婦人会では、町内の婦人に入会を呼びかけています。

婦人会とは、住みよい町をつくるため婦人同志が学び合い、語り合って共に活動する場です。町内会支部から町、郡、県、国へとつながる組織です。五城目町支部では三十五年の歴史をもつ自主団体としての五城目婦人会が活動しており、さらに日赤奉仕団支部や結核

予防婦人会(兼成人病予防)も兼ねて活動しています。

近年婦人会の会員は高齢化などにより減少しており、いつの間にか支部のなくなった町内がたくさんあります。また、婦人会の活動には、全町的な行事(ミニ国体・敬老会)や、地域の行事(検診、福祉)など協力事業もあり、たくさんの方の参加を必要としています。

このようなことから、五城目町婦人会では、自主的な支部の新設や、新会員の入会を期待しています。また、同会では会員の希望に

▽経費 七十三万一千円

本人負担 二十六万一千円

町負担 二十二万円

県負担 二十五万円

▽問い合わせ先

五城目町公民館 電話 4411

▽受付期限 5月25日(月)

▽研修期日

昭和56年10月5日/10月18日

▽募集人数 35人

▽応募条件

① 婦人団体、PTA、芸術文化団体、社会体育団体、ユネスコ、婦人・家庭教育学級等のリーダー、市町村社会教育関係職員、30歳以上56歳未満

▽訪問国

西ドイツ、スイス、フランス

▽研修内容

・ 青少年教育施設と学校外の活動
・ 婦人団体の活動状況
・ 社会体育施設と社会体育活動
・ 文化活動、図書館、美術館、博物館など

▽賞

入選 一点

佳作 二点

参加賞 全作品

進学予定の中学生も対象

日本育英会の奨学金

経済的な理由のために学資に困っている人は、日本育英会の奨学金を借りることができます。日本育英会は、学資で困っている学生や生徒に奨学金を融通して、修学を援助する国の機関です。

奨学金の採用には次の二つの方法があります。①の方法は来春、高専へ進学しようとしている中学生三年生も対象になります。

②在学採用

高等学校に在学する生徒に奨学金を融通する制度で、四月中

より新しい講座を設けるなど、意欲的な学習活動も続けていく方針です。加入を希望する人は同婦人会の役員へ申し込んでください。役員名と電話番号は次のとおりです。

会長 阿部 ミワ 電話 4327

副会長 佐々木 勢子 電話 3075

三浦 啓子 電話 3792

一関 鋭子 電話 4083

庶務 佐藤 アイ 電話 2414

会計 石川 ミヨ 電話 3586

記録 伊藤 光代 電話 4904

句と九月上旬に募集します。希望者は在学している高等学校に出願の届けをして推せんをうけます。

②予約採用

中学校第三学年、高等学校第三学年を対象に、上級学校進学後に奨学金を借りることを予約する制度で、四月中旬に募集します。希望者はそれぞれ在学している学校に出願の届けをして推せんを受けます。

奨学金は、高等学校や大学などの学校の段階によって違い、国立の学生より私立の学生の方が多く支給されます。また自宅から通学する場合とそうでない場合によっても支給月額額は違います。詳しい内容について知りたい方は、次のところに問い合わせください。

日本育英会秋田支部

(二) 秋田市山王四丁目一二

秋田県教育庁高校教育課内

電話 0188(60) 2183

報文芸



斎藤真樹子

市
五城目小 斎藤真樹子

わたしは、二月十五日に朝市に行ってみました。

◆「文芸欄」では町内のみなさんの作品を募集しています。
◆役場文書広報課へ作品をおよせください。

市は十時ころが、一番人が多く出るそうです。

市には、やさしい、くだもの、魚などたくさん物をならべて売っていました。店は、まっすぐな道にたくさんならんでいました。

売っている物は、自分の家で作ったものが多いようでした。それをきれいにあらべて、すこしずつ売っていました。

朝市には、たくさんの方が出て、しんせんやさいなどをすこしずつ買って帰って行く人が多くみられました。あつちをのぞいたり、

ねだんを聞いたりして見て歩く人もいました。朝市では知っている人どうしがしばらくお話をしてから、しんせんやさいなどを買って行きました。

わたしは、何回も市に行ったことがありますが、いつ行っても人がたくさんいて、お話ししながら買い物をしているところがとても楽しいです。

それから市によく行くのは、おしょうゆだんごを食べられるからです。今日もおしょうゆのだんごを買いました。おしょうゆのだんごは、一度食べたらずめられないほど好きだからです。

わたしは、市にくる人は、みんな寒さにも暑さにもまげず元気だなあと思いました。

市場
五城目小 伊藤豊美

ぼくは、今日市場のようすを調べにいきました。



伊藤豊美

ぼくはおもちゃ屋の近くで、たすく君といっしょになりました。ちよっと行くと門間君もいっしょになりました。三人でいっしょに調べました。ぼくたち三人は何か

いも何かいも回って何を売っているかを調べました。

花屋もありました。花屋では、花が何しゅるいもあって、とてもきれいでした。それからたいやきを売っている店や、わたしがしを売っている店、ズボンや色のついた服や、もようのついた服を売っている洋服屋、ざる屋、くだもの屋、八百屋の前を通った時、おいしそうなやさいがたくさんあるなあと思いました。

そのうちに八郎がたからとれた

二年になつて

富津内小 畠山千穂

ふなや小魚をたくさん売っている店を見つけた。五城目町は、八郎がたに近いから、おいしい小魚がたべられるのだなあと思いました。この魚を売っている店に、一番人があつまっていました。

そのほか道路にひろげて売っているやさいや、きのこなどは家で作ったものだそうです。

ぼくたち三人は、市場を調べて市場にいる人々が、いろいろなものをもちよって、売っていることがわかりました。

二年になつたら、二かいのきょうしつになりました。けしきがよくみえます。おにわの水も、いけもかだんも、一どに目にはいります。ひろいきようしつで、大きなはしらどけいがさがっています。な

俳句 黛吟社 四月号

三寒の廊挨拶が通りすぎ
大寒やまず老母に盛る熱き粥
大寒の漬石重く沈みけり
めづらしく寒の残照雲然や
寒見舞屋酒利きて弁走る
己が影ひききつて翔つ寒鴉
前かけに冬の葎やもらい風呂
研ぎあげて光れる鉈や寒の水
買物を他人に托して春の風邪
寒餅のきざむ音から明けにけり
寒の夜の頭鳴りしんしん地の底へ
老の身や仇と暮らす寒のうち
味噌汁は妻の味なり寒の朝
四十雀寒の吹雪に混り来し
山の峰黒く光りて寒の雨

猿田 天鳴
伊藤 芳穂
小松 孤松
三浦 緑葉
佐藤 流水
安田 龍泉
沢田石和子
斎藤 諒一
北島耕子
田中 芳朗
佐藤 羊村
小林 与根
石井 溪堂
伊藤 碧山
草皆 茂樹

婦人会川柳クラブ 四月例会

宿題「声」

産声に今日から親と言う重荷
遠い耳こちらも高く返す声
ほんとうの声を聞きたい夜もある
ハイミスに声も次第に遠くなり
声色を変えて孫から来る電話
妹と姉と間違え電話口
師の訓示生涯耳の奥に生き
北風の音に亡父の声を聞く
声変わり父にもあった反抗期
母の声もとめ形見を帯に締め
勝利への道へ声援惜しまない
声のない個室に惑う母心
吹き込んだテープ他人の声に聞く
佐々木敏子
本間 静江
渡部 姚子
納谷 喜代
八木下みき
平川みつえ
福島 ミツ
佐藤 貞
鍋谷 福枝
松田ウタ子
草皆 チエ
藤原 文
渡辺 銀雨

昭和55年「あきたの文芸」入選作 (川柳)

夫婦の詩 今野一城

夫婦してかくす裂目を叩く風
嘘つきのオームが喋る嘘の知恵
書き足して見ても未完な夫婦の詩
一歩引く妻の背に書く指の文字
透明な箱へ私の嘘を詰め
草笛の青さの中に棲む夫婦
子にのぞむ虹はまだまだ遠い距離
蟻地獄這い出る靴を買いに出る
失敗をかばって夫婦老が見え
人間のもろさをさらす夫婦の詩

川柳すずむし 三月号

平和論軍靴の音を知らぬ子等
老眼の辞書にかさねる虫めがね
紙切れに負しき人の捨台詞
群衆の心理わたしも旗を振る
ふり向けば昨日と同じ位置に立ち
夢に立つ亡母の姿は割烹着
三度目は泣けて来そうな祝い唄
脳味噌の錆がとれない物忘れ
同じ唄ばかり唄っている不満
冬眠を脱いで少女のミニドレス
傷ついた翼を抱いて里帰り
貧しくもふた親そろそろ幸をもつ
何をして遊んでいたか子の寝言
そこまでは父にもあった設計図
柴田 銀河
鍋谷 福枝
松田ウタ子
小玉 光子
柴 みつ
佐藤 貞
草皆 チエ
佐藤 はる江
八木下みき
納谷 喜代
福島 ミツ
加藤 円心
渡部 光人
荒川紫陽花

ボーイスカウト 募集
秋田第30団(五城目)
▽▽▽切：昭和五十六年五月十五日
▽資格：小学校三年の男子
▽申込：五城目電報電話局内
TEL (066) 222000

がいはりが、十二じにつくとボンボンとなります。はじめにきいたときは、さんすうのじかんでした。びっくりしました。

かいだんをのぼったり、おりたり、とってもたいへんです。それから、まい日そうじがあります。こここの本の字が、小さくなりました。かん字は、おおくになりました。さんすうのもんだいは、たくさんついています。

わたしは、さんすうのけいさんを、まわがわないうようにがんばります。

愛鳥週間・5月10日～16日



【おしらせ】

春の大掃除

町部
立入り指導は11日・12日

町部の「春期大掃除」立入り指導を次の日程で行います。各家ではその前に掃除を完了しているようにお願いします。

5月11日

広ヶ野 前 9・30

日本赤十字社
社員加入をお願い

日本赤十字社では、五月一日から五月三十一日まで全国一斉に赤十字社員増強運動を行い、新社員の加入を呼びかけます。また、昨年社費を取めて社員になっていない方には、引き続き社員になっていただくようお願いいたします。

社員の資格は四百円以上納付すれば得られますが、日赤秋田支部では、特に五百円以上の高額社費を納めるようお願いしています。

当町の目標は、社員数三千八百人以上、その社費総額は百五十五万八千八百円となっています。社員は人種、国籍、信条、性別、社会的身分や門地によって差別されることがなく、だれでも加入できます。また個人だけでなく法人も加入できます。

日本赤十字社では、現在、世界の百二十六カ国の赤十字と手をつなぎ、国の内外で活発な活動を続けています。全国の社員から集めた社費は、この活動の重要な資金となります。

日本赤十字社について疑問の点などがありましたら、社会福祉協議会（電話②2768）に問い合せてください。

△小児マヒ△

生ワク投与20日・21日

小児マヒの生ワクチン投与を次のとおり行います。対象になっているお子さんは必ず受けてください。

当日、問診票と母子健康手帳を持参してください。問診票は、お子さんの健康状態をみきわめるための重要な資料ですので、必ず保護者が記入してください。

▽日程

5月20日（水）

五城目・面湯地区
担当 畑沢医師

5月21日（木）

馬場目・内川・富津内・大川地区
担当 笹尾医師

△受付時間 午後1時～2時

▽場所 広域体育館予備室

▽対象 象

・第一回投与

(イ)昭和55年8月1日から昭和56年1月31日までの出生者

昭和55年2月1日から昭和55年7月31日までの出生者

・未投与者

(イ)以前に出生した者

技能検定・技能五輪

申し込みは26日から

五十六年度前期技能検定の受検申し込みを、五月二十六日から六月五日まで、秋田県職業能力開発協会と各地区の技術センターで受け付けます。また、この技能検定と併せて、青年技能者を対象とした技能五輪秋田県大会の参加者も募集しています。

技能検定は、技能の程度を一定の基準によって検査し、それを公に証明する国家検定制度です。前期の検定は造園、板金、木工、左官など三十七職種六十作業について行います。

また、技能五輪秋田県大会の競技種目は、普通旋盤、ガス溶接、電気溶接など二十四職種です。この大会は全国大会の県予選を兼ねています。参加資格は、昭和三十六年から三十八年に生れた人となっています。

技能検定と技能五輪秋田県大会について詳しく知りたい方は、次のところに問い合せてください。

・秋田県職業訓練課

秋田市山王四丁目秋田県庁内

電話0188(60)1733

・秋田県職業能力開発協会

秋田市新屋砂奴寄1

電話0188(62)3510

誕生

おめでとう

ございます



館越	齊藤	祥	4、12
浅見内	工藤奈緒美	優	4、19
朗治	美紀子	二女	4、19
工藤	恵美	昭子	4、19
真悦	昭子	二女	二女

おくやみ

申し上げます

畑町	荒川	資子	3、14
中村	達雄	幹子	二女
中村	石井真智子	光子	3、14
水沢	川島	智道	3、17
町村	善道	誠子	3、18
黒土	石井	弘子	3、23
浅見内	鉄美	アヤ子	3、25
新町	中村	徳志	3、28
米沢町	春夫	昭子	二男
中村	透	美樹	3、30
中村	佐藤	純子	3、31
古川町	伊藤	憲	4、8
政信	俊子	長男	長男

踊り山車の参加者募集

五城目青年会

第五回

満洲第二〇九部隊戦友会

五城目青年会では、五月十六日の本町部祭典でねり歩く、踊り山車の参加者を募集しています。

参加を希望する人は、次のところへ申し込んでください。

佐藤 清彦 電話②3175

渡部 公夫 電話②2640

石川 春美 電話②4350

伝言板

▽期日 六月六日（土）

▽会場 秋田市・竹葉旅館

電話0185(35)2177・夜間